

2025 年 5 月 19 日 第 1 版

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、滋賀医科大学学長の許可を受け
たうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

滋賀医科大学 医学・看護学教育センター

記

研究の名称	難治性胃食道逆流症患者に対する内視鏡的逆流防止粘膜切除術標本を用いた食道胃接合部領域の病理組織像の特徴に関する検討（その2）
対象	2008 年 4 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までの期間に大阪医科薬科大学病院で胃食道逆流症に対する内視鏡治療を受けられた 20 歳以上の患者さんの切除標本を研究に利用いたします。大阪医科薬科大学病院の 30 例を予定しています。本学は病理組織解析実施機関になり、本学からは試料・情報の提供は行いません。
研究期間	研究実施許可日（2025 年 9 月 15 日） ～ 2029 年 12 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：食道と胃のつなぎ目を胃食道接合部と呼びますが、その部分の細胞の配置や機能は明確にはわかっていません。胃でも食道でもないこの部分はさまざまな病気の発生母地でもあり、胃食道接合部の細胞の配置や機能を明らかにすることは、そこにできる病気の予防や治療につながります。今回の研究では、以前に大阪医科薬科大学病院で胃食道逆流症に対する内視鏡治療により切除した胃食道接合部の粘膜標本を、詳細に検討することにより、胃食道接合部の細胞の配置や機能を明らかにします。</p> <p>利用方法：患者さんの胃食道接合部粘膜の標本を特殊な染色液で細胞ごとに染色し、その特徴を検討します。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2025 年 9 月 15 日）</p>

利用し、又は提供する試料・情報の項目	試料：胃食道接合部粘膜の標本 情報：上部消化管内視鏡により撮影された胃食道接合部の写真
利益相反について	<p> 本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、大阪医科薬科大学病院の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。共同研究機関においては、滋賀医科大学の利益相反マネジメントポリシーに則して実施します。 </p> <p> 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。 </p>
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学病院 消化器内視鏡センター 医員 太田 和寛 【共同研究機関・研究責任者】 滋賀医科大学 医学・看護教育センター 教授 向所 賢一	
参加拒否の申し出について <p> ご自身の試料や診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。 </p>	
問い合わせ窓口 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号 大阪医科薬科大学病院 消化器内視鏡センター 担当者 太田 和寛 連絡先 072-683-1221（代） 内線 56867	